

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業評価シート										平成 27 年度事後評価・決算		所管課		市民生活課		担当班	市民生活支援班				
事務事業名		コード	4500	出会いの場創出事業		予算科目		会計		款		項		目		事業種別	☒ 主な事業（重点施策）重2				
						一般				2		1		10			☐ 国土強靱化地域計画				
施策体系	基本施策	7	子育て支援の充実		根拠法令		旭市後継者対策協議会設置要綱										☐ 新市建設計画				
	施策の展開	15	結婚・子育て環境の整備		戦略事業		68	出会いの場創出事業												☒ 定住自立圏構想	
施策の展開					戦略事業															☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない														
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●旭市後継者対策協議会（通称：出合いコンシェルジュ）により、結婚願望があり出会う機会が少ない独身者に、各種パーティやイベント等の出合いの場の提供や、セミナー開催など婚活を支援し、結婚の増加により、市の人口減少対策の推進及び定住化の促進を図る。 ●旭市後継者対策協議会委員は任期2年、20人以内で市長が委嘱（無報酬）、会議は年4回程度、イベントスタッフとしても参加する。 ●会員希望者は会員登録を行う（20歳以上の独身者、男性は旭市在住、在勤、在住予定者）。婚活イベントには会員以外も参加できる（会員優先。男性は会員のみのイベントもある）。イベントのお知らせメールは会員のみのみ。会員が結婚し報告があれば商品券を贈呈する。														
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化					⑤ 事務事業に対する住民からの意見等									
全国的に未婚化、晩婚化が進行し、深刻な社会問題になっており、自治体による婚活支援が行われ始めたことを契機に、平成19年度に旭市後継者対策協議会を設置し、出合いの場の提供等の婚活支援を開始した。					・平成17年、22年国勢調査の数値を比較すると、全国的にも旭市においても、未婚率は増加している。 ・旭市事業開始後、H22年度銚子市、H23年度匝瑳市、香取市が婚活支援事業を開始。（銚子市はH26で終了）					・参加者からは、「市が事業をやってくれるのはありがたい」、「市の事業なので、安心して参加できる」、「他市と合同で開催してほしい」などの意見・要望がある。					

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算)	単位:千円	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
1.負担金補助及び交付金	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
2.旅費	0	6	0	2	0	16
3.その他	0					
② 特定財源の内訳 (27年度の決算)	単位:千円	事業費計 (A)	1,506	1,500	1,502	1,500
1.国庫支出金	0	1. 国庫支出金	千円			
2.都道府県支出金	0	2. 都道府県支出金	千円			
3.地方債	0	3. 地方債	千円			
4.その他	1,500	4. その他	千円	1,500	1,500	1,500
		5. 一般財源	千円	6	0	16

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

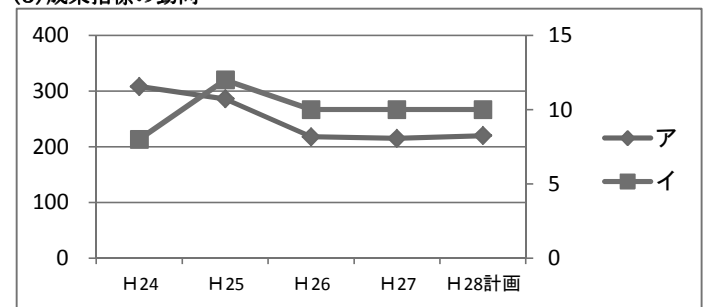
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
27年度実績 (27年度に行った主な活動)								
・旭市後継者対策協議会会議の開催		ア イベント(出合いの場、セミナー)の実施回数	回	14	13	11	9	10
・パーティ等が出合いの場やセミナーの企画・開催								
・会員の募集・登録		イ 会員登録者数	人	354	411	421	467	490
・利用規約に基づく事業の実施								
・近隣市等と合同でのイベント実施								
② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
対象意図		ア イベント(講演会を除く)に参加した人数	人	308	286	218	215	220
・独身者(男性は市内在住・在勤・在住予定者に限定、女性は限定していない。)								
・独身者が出合いの場やセミナーなどの婚活イベントに参加する。		イ 会員で結婚報告があった数	人	8	12	10	10	10
対象意図								
・会員及びイベント参加者								
・会員及びイベントの参加者が結婚に至る。								

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果			
		成果向上余地			コスト比率		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
施策貢献度	大きい		②		①		
	普通				②	(2)	
	小さい				③		
評価結果	成果優先度	④⑤			④⑤		
		⑥			⑥		
		⑦⑧			⑦⑧		
		⑨			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)															
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	比較	23年度 24年度	25年度 26年度	27年度 28計画	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)				数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果動向	ア 12	△ 22	△ 68	△ 3			5
								イ △1	4	△ 2	0				0
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容										今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☒ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()		
		例年どおり実施										H29 2～3月ごろ	イベント開催時期や内容によっては人が集まらないため、それらを検討する必要がある。		